



Subaru

男声合唱団 ニュース №339 '11. 12. 15

支援コンサートの御礼状紹介

□「私の好きなこの街コンサート」のお礼状が現地の方々からとどいていますので、ご紹介します。

□高田様

支援コンサートお疲れ様でした。本当にありがとうございます。

涙を流しながら、聴かせて頂きました。そして一緒に歌いました。

「昴」の方々がご年配の方々だけだったので驚きました、そして、すごいパワーに驚きました。

私たちも、負けないように頑張りたいと思います。

力強いパワーとエネルギーをいただきました有難うございます。

そして、高田さんが作られた茶碗が当たり、うれしく思っています。

大切にしたいと思います。

お体に気を付け頑張ってください。

タクミ印刷 高橋様より

□山下和子様

早くも師走を迎え、時間だけは自分の心に関係なく過ぎ去って行く感じの毎日です。

山下様には、その後もお変わりなくご活躍のことと存じます。過日は、ご遠方にもかかわらず、私共に温かく力強い励ましをお届け下さいまして、本当にありがとうございました。思いがけないコーラスに出来まして、御礼の申し様が無い程感謝の気持ちが一杯でした。

コーラスの皆さん、お一人お一人が、私達に元気を与えて、お役に立ちたいという思いが、痛い程伝わってまいりました。なんて素晴らしいハートの持ち主の方達。体調が悪くてマスクを外せなかつた私でしたが、皆様に出来て、本当に感謝致しております。

情熱が無ければ何事も生まれませんし、続けられませんね。少ないコーラス会員の中で4人も亡くなり、今現在もコーラスの代表者が行方不明です。私もその一人ですが、被災している会員もありますので、何とか再びコーラスを始める切っ掛けを作り、心のハーモニーを響かせる努力をしなければ・・・・と思っておりました。3月11日から止まってしまった音楽への心に火を灯します。「私の好きなこの街」を利用させていただきたいと思います。今年は、どの人も無理と思われますので、年明けから始められる様に努力したいと思っています。

お寒さにもかかわらず、真心を美しく響かせて下さいましたコーラスの皆様方へのご恩返しが出来るよう、少しづつ、少しづつ歩き出す努力を致します。

お忙しい最中にもかかわらず、貴重な楽譜をお届けいただきまして本当にありがとうございました。



心より厚く御礼を申し上げます。

「おらあ ここがいい」も、自分達の歌になれる様に、「私の好きな街」同様、一生の宝になる様、練習に励みたいと思います。檀 美知生様に、どうかくれぐれもよろしくお伝え下さいませ。

また、当日のクジ引きで「ひまわり」が当たりました。村嶋由紀子様の作品でした。希望を失わない様にの思いが響いてまいります。のどかで美しかった街はなくなりましたが、この震災で、とても大切な人の温かさは失っていない事を強く感じております。

会員の皆様方に、どうぞ宜しくお伝え下さいませ。

お寒さ厳しいこの頃です。どうぞ御自愛下さいませ。

平成23年12月9日夜

かしこ

大塚和子様より

□千秋昌弘様

先日は気仙地区（高田市、大船渡市、住田町、2市1町は気仙地方といわれております。）に「昂」のすばらしい合唱をひびかせていただき、ありがとうございました。

高田会場でマイクを握って歌った及川さんは以前に歌声に関係した人とか、共産党の高田市会議員の藤倉さんから聞きました。同封の「気仙のうたごえ祭典」のプログラムを藤倉さんに見せた所、大変懐かしがってくれました。

20日（日）に午前中珠算指導をして、午後室を整理していく、ダンボールの箱があり、何が入っているだろうと開けてみたら祭典のプログラムがはいていました。「昂」が来ると聞いていたので偶然にもその関係で出てきたのではと思いました。

偶然といえば私の珠算教室も一昨年からの2教場を追い出しにあい閉じました。そのお陰で現在生きていられるのではと思っています。その2教場が今回の波で流されています。今思うとぞっとします。

千葉県でのうたごえ祭典から引き続き気仙入りと道中大変お疲れ様でした。寒さもでて來たので体調管理も大変だったことでしょう。

すばらしい合唱を聞いて気仙地方の人達も元気と希望も出てきたことでしょう。私と妻も2日間にわたり聞かせていただき、千葉祭典の余韻を感じつつ、青春時代も千葉県からエネルギーをもらった様に、今回は「昂」がそのエネルギーを運んで来てくれたと感じています。本当に有難うございました。心から感謝申し上げます。

私から感謝の気持ちとしてここに「平成の大津波」を一冊贈呈させていただきます。尚、当地方の東海新報社の写真集は在庫なしで、絶版となっています。同送の写真集はまだありますので欲しい人がいましたら遠慮なく当方にでもお申し込みください。お世話します。

団員の皆さんにはご健康にて益々のご活躍を期待しております。

2011年11月24日

（もと、うたごえ大船渡）新沼正四郎・八重子様より



プロ・グラム		第1部	第2部
歌 唱 指 導	リムジンガン、他	1 新婦人大船渡支部 歌 この手をつないで 汽車ほっぽ 2 岩教組氣仙支部 歌、踊	10 仙台合唱団 (特別出演)
開会のことば		3 高田医労 歌	11 岩手開発鉄道青年部 踊 八木節
実行委員長あいさつ		4 大船渡医労 歌	12 高田市職青年部 踊 氣仙坂 歌 友よ、昭和ブルース
全 員 合 唱		5 医労合同 歌 窓を開こう、進め医療労働者	13 高田若者会 歌 すばらしい明日のために 若者たち、わたほこの中に 咲いた花
		6 木青会 踊 舟方栄、武田節、からめ節	14 サンゴ合唱団 歌 七つの子、若者たち オールドブラックジョー
		7 うたごえ大船渡 歌 外山節、青春音頭、リムジン ガン、平穂は心のふるさと どんぐりぼうやの思い出	15 金融の仲間 歌
		8 三陸町職 歌	16 上有住連合青年団
		9 みんなうたう会	17 大船渡市職青年部 歌
			18 アコーデオン協議会

信用第一

千秋教室が12月1日再開されました。

コスモスのメゾ芦原さんとその孫中山雄貴さん 22歳を加え計5名で楽しくやりました。

原則、第1水曜日の6時半から「ねむかホール」ですが、1月は正月休みということで

第3水曜日の1月18日(水)6:30~

に行ないます。

次回はコンコーネをやりますので、持てる人は持ってきて下さい。

お気軽にお越しください。お待ちしています。

「みかづきスマイルの少女」海音(かのん)ちゃん・小2 NHKスペシャルで放映されました。

- お母さんの遺骨が上がった時、声にならない声で「ママ、ママ」とさすって体を震わせて泣きました。
- それっきり泣かなくなり、あまりに普通にしているので、おばあちゃんは逆に心配していました。
- 引き取って一緒にくらしているおばあちゃんにもかのんちゃんの胸の深いところはわかりません。
- 地震の時、ママとお姉ちゃんは車でかのんちゃんを迎えて来る間に津波にさらわれました。かのんちゃんは、別のおばさんに保護されて無事だったのに。そのことはかのんちゃんは「聞きたくない」といいます。
- 2人が津波にさらわれたのは自分を迎えて来たせいなのだ、あたらしい車だったのになぜ、とかのんちゃんは悔やんだり、自分を責め続けました。やっと、「いまはない」いや「わかんないな、ちょっとだけ・・・」と。
- ある日、かわいがっていた犬の「ポン太」が死にました。学校から帰ってすぐ、「ポン太は?」とかのんちゃんは聞きました。虫が知らせたのでしょうか。ダンボールの中で死んでいるポン太をみて、かのんちゃんは大声で泣きました。「泣いてくれた」とおばあちゃんもケアのお姉さんもちょっと、ほっとしました。





□絵を描きました。デザインのすぐれた才能を感じさせる絵です。右にパパ、ママ、お姉ちゃんと思われる笑顔の3人がいて、左に大粒の涙を流して泣いている、かのんちゃんと思われる女の子がいます。女の子と3人のあいだは、壁のようなもので隔てられています。かのんちゃんは、「知らない人と知らない人と知らない人と知らない人」といいます。

□近くの公園でイベントがありおばあちゃんの運転で車で出かけました。行く

途中、この先は水がつかって通れなかったのだよとおばあちゃんがいうと、「聞きたくない」といい、まだおばあちゃんがしゃべると、「ひつこいよ」と遮ります。イベント会場の公園に着いても車に戻ってしまいます。そこは、おばあちゃんのところに遊びに来た時、家族で遊んだ公園だったのです。

□学校の先生との交換日記で書きました。(一部漢字に直しました)

マラソン競争で、もうだめ、もう走れないと思いました。

そのときこんな声がしました。

「がんばれかのん」

ママの声です。

「そうそう、うちの分までがんばれよ」

おねーちゃんの声です。

「がんばれかのん。つなみに負けないおまえが負けるわけがない。おれたちの分までがんばれ」
パパの声がします。

そのときわたしはこころの中でおもいました。

「うち、がんばっているから、おうえんおねがいね」

うれしかったけど、ちょっと、いま一人になったことがくやしいです。

マラソンをまたやりたいです。

□仲のいい友達が出来ました。家でも一緒に遊びます。

□地元の合唱団に入りたいと言っています。

□最近毎日歌っているのは、西野カナの「君って」です。

・・・・・歌詞の一部・・・・・

君って 泣いたりしないんだね

思い出してごらんよ

私は 私は 不器用だけど今は
すべてを受け止めたいから ここにいるよ

I will stay with you
たとえ何があっても つまづいても 迷っても

Baby you know I will stay with you
どんな暗闇でも ちゃんと隣にいるから
私が隣にいるから

□東日本大震災で親を亡くしたこども 1567人
うち、両親を亡くしたこども 240人

